

平成 25 年 2 月発行

第28号

発行 有田川町議会
発行責任者 議長 中山 進
住所 郵便番号 643-0021
和歌山県有田郡有田川町
大字下津野2018番地4
電話 0737-52-2111
FAX 0737-52-2198

<http://www.town.aridagawa.lg.jp/profile/gikaikoh/>

有田川町議会広報

かわら版



栗生のおも講と堂徒式
(国指定重要無形民俗文化財)

平成 24 年度補正予算など	2 ~ 5
町長にもの申す	6 ~ 12
委員会レポート	13
編集後記など	14

有田川町防災施設整備（訓練塔その他）建築工事に1億388万円
 吉備中学校教室用備品購入に833万円
 吉備中学校管理・特別教室用備品購入に789万円

一般会計補正予算

5,578万円

平成24年第4回定例会は、12月4日から19日までの日程で開催されました。

本定例会に提案された平成24年度一般会計補正予算・各特別会計補正予算、条例

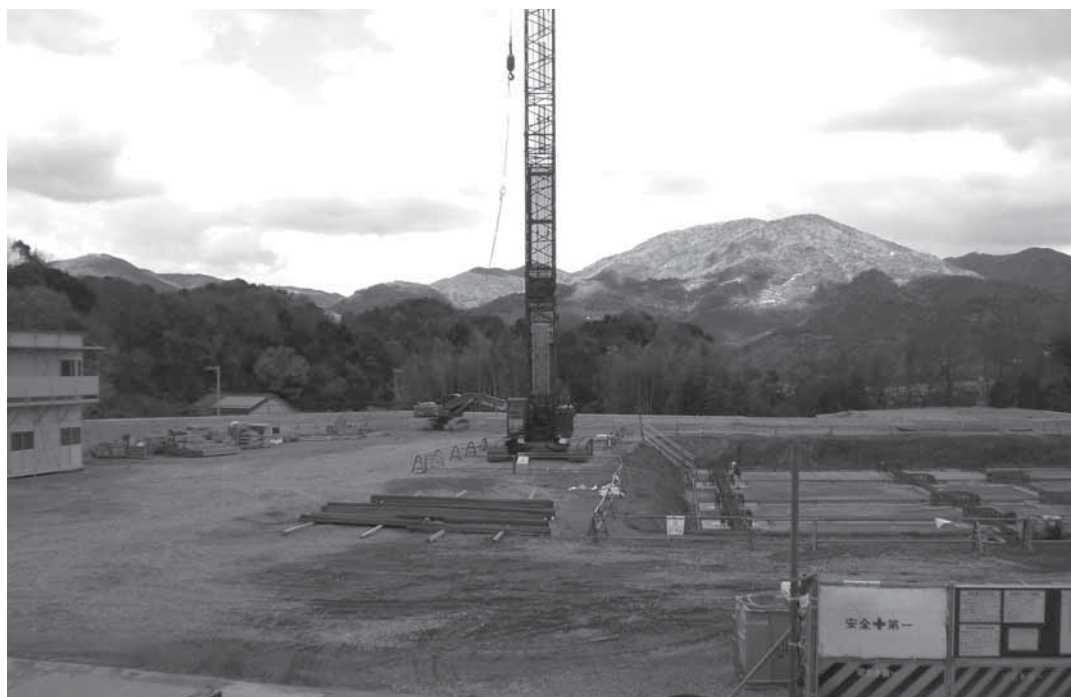
の制定・一部改正、工事請負契約、財産の取得など、提案された議案を審議し、すべて原案の通り可決されました。

◎平成24年度一般会計補正予算

（単位：万円…千円以下切り捨て）

項 目	金 額
総 務 費	1,038
民 生 費	3,053
衛 生 費	374
農 林 水 産 業 費	660
商 工 費	75

項 目	金 額
土 木 費	470
教 育 費	486
災 害 復 旧 費	725
予 備 費	△1,304
補 正 額 合 計	5,578



消防署建設工事はじまる（平成25年12月末完成予定、奥徳田地内）

一般会計補正予算の主な歳出

農地災害復旧工事費に
465万円東丹生図、中、沼田、
遠井、久野原地区町営住宅修繕費に
300万円秋葉団地の雨漏り修繕
2軒分有害鳥獣捕獲報償費に
375万円イノシシ捕獲320頭分の
補正

一般会計補正予算質疑

【質疑】

年少控除額の廃止に伴う増税分の試算額（8262万6千円）が予算化されている。

第1点目として、増税分の試算額の中で、年少扶養控除廃止に伴う納税義務者数と税額への影響額は。また特定扶養上乗せ部分の廃止による納税義務者数と税額への影響額を示していただきたい。

第2点目として、①所得250万円で子ども3人の場合②所得350万円で子ども3人で内1人が特定扶養控除対象者で16歳から18歳の場合③所得460万円で子ども2人の場合。扶養控除廃止前と廃止後でどれだけ住民税と所得税が増えるかを示していただきたい。

住民税務部長 個人住民税の扶養控除の見直しで年少扶養控除の廃止に伴う納税義務者数は220



水尻地内

0人、税の増額分としては7240万円。また特定扶養控除の上乗せ部分の廃止に伴う納税義務者数は760人、税の増額分としては1020万円。

①所得250万円のケースで子ども3人で住民税が11万2500円だったのが改正後21万9千円となり、10万6500円増額となる。また所得税4万9千円だったのが11万4500円、差額6万5000円の増となる。

②所得350万円のケースで、子ども2人、年少扶養控除1人、特定扶

養対象者が16歳から18歳の場合、住民税で改正前が24万1千円が28万6千円となり、差額4万5千円の増となる。所得税は、11万3500円が17万6500円となり、差が6万3千円の増となる。

③所得460万円のケースで子ども2人、年少扶養2人の場合（16歳未満の者）、住民税が改正前36万3千円が、改正後42万9千円となり、6万6千円の増となる。所得税は、26万4500円が41万6500円となり、15万2千円の増となる。

◎平成24年度一般会計補正予算

「平成24年12月16日投票の衆議院議員選挙などの選挙費用3375万5千円」

◎平成24年度一般会計補正予算

「マル有共撰へのカラーセンサー設置補助金1億円」

その他の補正予算

◎平成24年度国民健康保険事業特別会計補正予算

◎平成24年度後期高齢者医療特別会計補正予算

◎平成24年度介護保険事業特別会計補正予算

◎平成24年度特別養護老人ホーム等事業特別会計補正予算

「緊急避難用スロープ設置工事300万円」

◎平成24年度公共下水道事業特別会計補正予算

条例の一部改正・制定

◎条例の一部改正

「税の納期前納付に対する報奨金の廃止」

◎廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

◎強い農業づくり交付金事業に関する分担金徴収条例の一部改正



スロープが設置される特別養護老人ホーム しずみ園(二川地内)

◎久野原コミュニティセンター条例の制定

「児童館を改修して活用する」

◎町議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正

財産の取得

◎吉備中学校教室用備品購入

「生徒用机・イスなど833万1613円」

◎吉備中学校管理・特別教室用備品購入

「作業机・イスなど789万4950円」

請負契約

◎防災施設整備(消防署訓練塔その他)建築工事の請負契約 1億388万7000円

教育委員会委員の任命同意

岩本 行弘氏

有田川町小川

平成23年度決算を認定

平成23年度の決算額は一般・各特別会計合わせで歳入総額259億5395万円。歳出総額254億3589万円。

翌年に繰り越すべき財源は1億2989万円。実質収支額は3億8816万円の黒字となっている。

自治体に示されている「財政指標」に基づいた分析結果は、経常収支比率86.5%。(70%～75%以内が目安)

実質公債費比率は13.5%。(3カ年平均で18%以上になると起債の許可がおりにくくなる)

財政力指数は、0.33%。(指数が高いほど町の財政にゆとりがある)

以上の主な指標数値からみて、財政健全化判断比率をクリアしているものの今後、普通交付税

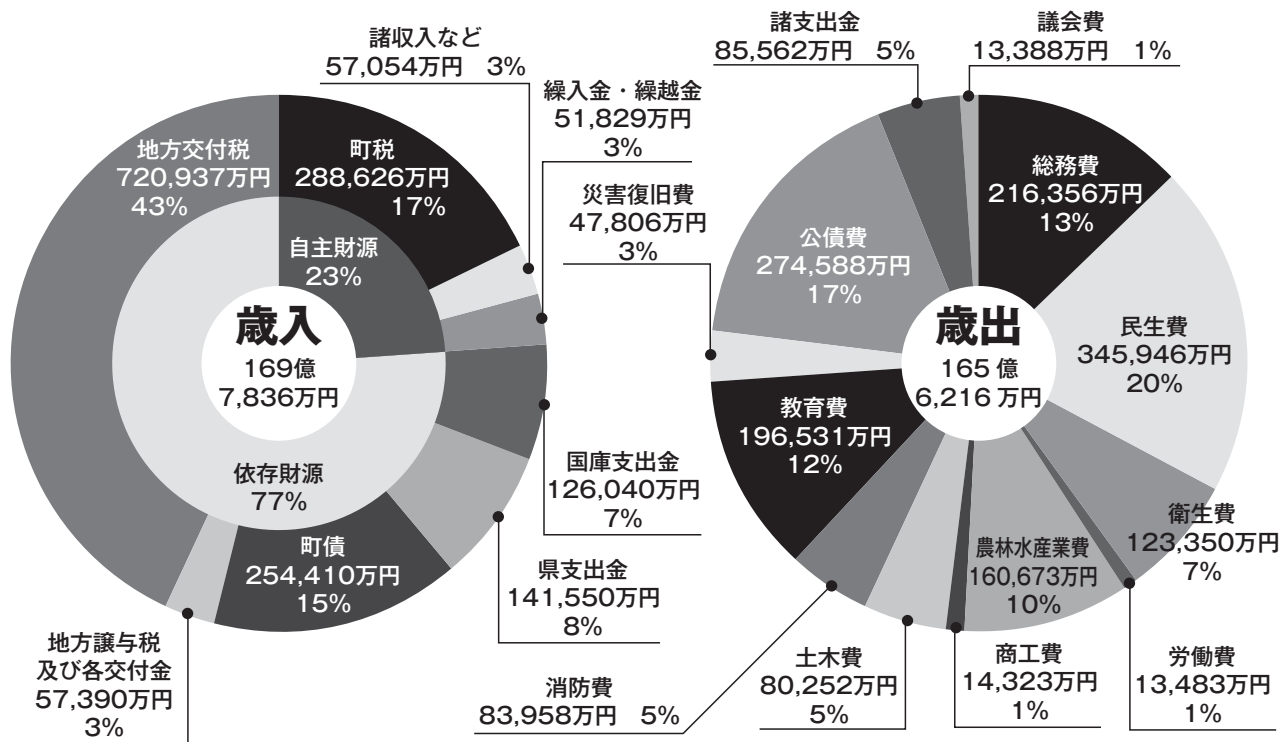
の「合併算定替え」の見直しに伴う普通交付税減額が予想されることから、具体的に事業効果の見直しなどを総括して、予算の効果的な活用をするように決算審査特別委員会で指摘され、全議案が承認された。

今後とも、財政構造の健全化にむけて町執行部、議会が一体となって取り組むべきである。



バイパス工事が進み利便性が期待される(水尻地内からJR紀勢本線を越えて国道42号へ通じる)

平成23年度 一般会計決算の内訳



総務大臣感謝状 贈呈

楠部重計 議員



35年以上にわたり町議会議員として地方自治の振興発展に顕著な功労が認められ、総務大臣より表彰されました。

楠部重計議員 逝去



去る1月3日、楠部重計氏が逝去されました。

楠部氏は、昭和52年に旧金屋町議会議員として初当選以来、通算35年以上もの長きにわたり、地方自治の発展のためにご尽力されました。長年にわたる豊かな経験と強い責任感のもと、常に町議会のリーダーとして活躍されました。

多年にわたり尽くされた大きな功績は、有田川町の今後の発展の上に、脈々と伝えられることと思います。

ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

町長にもの申す 一般質問

6議員が登壇しました

年4回の定例会一般質問は、議員の日常活動や考え方にに基づき、町長もしくは教育委員会に対する質問の要旨をまとめ、開会日から質問通告の締め切り日までに議長へ通告します。

一人の議員は、あらかじめ通告している質問について3回まで質問ができます。

町長などに行政への基本姿勢や方針、時々

の重要課題など、町行政全般について、自由に質問ができるようになっています。

本町の平成24年度の定例会平均質問者数は7.5人となっています。

町民みなさまの傍聴をお待ちしています。

なお、「かわら版」の掲載には、紙面が限られているため、原稿は一人約900字以内にまとめることになっています。



武内総務政策部長



中山町長



楠木教育長



前田消防長

質問議員氏名	質 問 事 項
西 弘 義	1 鳥獣害対策の強化を
	2 メガソーラー設置の見通しはどうか
佐 々 木 裕 哲	1 地場産業育成の支援体制は
	2 町の催し（まつりなど）の日程が近隣市町と重ならないようにできないか
	3 訃報情報を広報にのせてはどうか
殿 井 堯	1 部長制度にした成果はどうか
	2 全国棚田サミットの準備はどうか
	3 教育活動奨励交付金の継続を
前 勢 利 夫	1 バイオテクノロジー対策を問う
	2 12号台風による有田川支流の推積、および流木などの処理問題は
増 谷 憲	1 人口3万人目標をどう実現するか
	2 有害鳥獣被害対策の充実を
	3 消防職員の増員を
堀 江 眞 智 子	1 学童保育を公立に
	2 町営住宅の維持修繕は



地域の環境を守り 地域資源を活かしたまちづくりを

西 弘 義

鳥獣被害対策の強化を

町 長
今後、対策を
とっていく

質問 平成20年2月に鳥獣被害対策の法律の施行があり、捕獲許可が県から町に変わった。各種事業の積極的な実施により、効果が上がっていると思うが、現状はどうか。

町長 捕獲許可権限が県から町へ移り、各区長の意見を聞き、被害が出れば、猟友会に依頼しての駆除や防護柵の設置など、有害鳥獣対策を行っている。

質問 地域の維持・発展のため、町と地域住民が一体となった鳥獣被害対策のチームが必要だが、次年度以降の町の取り組みを問う。

町長 今後は、田口・丹生・糸野地域で防護柵を設置するようになっていく。



駆除されたイノシシ

質問 3町合併後も猟友会は、吉備・金屋・清水の各分会組織となっている。捕獲許可権限が町に移ったなら、町長の判断で3分会の捕獲方法の違いを統一してはどうか。

例えば、吉備は「くくりワナ」の設置が認められている。しかし、金屋・清水は自分の畑や山であっても「くくりワナ」の設置が認められていない。誰のための有害対策なのかとなる。

代表も含めての協議が必要だと思うが、町長の見解を問う。

町長 有害対策は、当然、農家・山主への被害防止のためであるので、関係者と協議し、平成25年に「くくりワナ」も設置できるよう努力したい。

メガソーラー発電施設は設置されるのか

町 長
まず地元同意が必要

質問 千葉山（吉備）にメガソーラー発電施設の設置が計画されようとしているが、環境面でのさまざまなシミュレーション（設置可能予測調査）をした上でのことか。

また町は、地域住民に対して設置の説明を行っているのか。

町長 業者が行ったシミュレーションでは、太陽光パネルの下に碎石を敷くので雨水の排水による被害は起こらないと考える。



メガソーラー予定地の千葉山からみる

ている。
また施設周辺はネットフェンスで囲み、パネルの勾配は10%であり、台風時の風雨に耐えられるような耐久性を有している。

事業主体の業者が地元区に説明をする。町は、地元同意を得た上で土地の賃貸契約を行いたい。

メガソーラー発電とは、電気事業者が進めている大規模な太陽光発電であり、1カ所で1000キロワット以上の施設をメガソーラーと呼んでいる。

地場産業育成の支援体制を問う



佐々木 裕 哲

山椒の出荷倉庫の建設を

町長
場所があれば
協力する

質問 わが町から全国発信できる特産物は、有田

みかん、清水地区を中心とした「ぶどう山椒」である。山椒生産者組合は

作付面積（約100ヘクタール）売上高3億円は

みかん生産と比較して何十分の1であり、組合員

の力も弱い。しかしこの地域にとっては、かけが

えない現金収入である。このたび組合は出荷倉庫

建設にあたり用地の件で悩んだと聞くが、「町は

もっと協力してほしい」というのが願いである。

清水地区は木材と山椒と清水米が主要産業であるためだ。

町長 JAおよび山椒組合から、山椒の安定供給

を図るため、倉庫を建築したいとの申し出があり、

私も前回の選挙公約として

低温貯蔵庫を建設

するよう

進めたが

用地でま

とまらな

かった。

別の場

所があ

れば町

としては協力

したい。

町の催し(祭り)が重ならないよう日時を決められないか

町長
ほとんどんまつりは第3日曜日と決まっている

質問

今年も10月21日、

第15回有田川町どん

まつり(約3万5千人来

場)、同日湯浅町で第11

回紀州湯浅鯖(サバ)と鰯(アジ)祭り(約8千人来場)が行



ぶどう山椒PRキャラクター「山椒ブラザーズ」

でも他の催し物があった。

町長 ほとんどん祭りは、

以前から第3日曜日と決めており、この時期はほかの町も祭りが重なるが、

今後1市3町の観光協議会もある中で、その時、

できるだけ重ならないように検討したい。



毎年多くの来客でにぎわう どんどんまつり

町広報に計報のお知らせを

町長
研究したい

質問 人の一生涯はみな

立場が異なってもはかり

知れないほど重いもの

ある。

以前お世話になった人、

社会のために貢献してく

れた人など、故人を偲ぶ

意味でも町広報誌に載せ

てほしいとの声がある。

載せられないか。(但し、

個人情報のあるもの、

で家族の了解の得られた人のみ)

町長 計報などの情報は、

地域で生活するものにと

って昔から絆の上でも大

なことであるが、今日の

情報社会では個人情報な

のかかわりもある。

県下では、上富田町が



平成24年度から実施された 機構改革の成果は

堯 井 殿

部長制の成果はどうか

町長 指揮命令の責任が明確になった

質問 部長制度は、今までと比べ、どのような利点があるのか。各課の連携なども問題なく良い成果を出せているか。

町長 部長制にすることで、管理職を63名から53名に縮小し、年間約200万円の経費を削減できた。部長制で中身の濃い討論ができるようになり、指揮命令系統が整理できたことから責任がより明確となった。

今後、経費削減のため、極端な住民サービスの低下にならないよう努めながら職員を減らしていきたい。

質問 管理職を減らすことにより経費削減はできたとしても部長制にし、給料を上げることになれば逆に経費を増やすこと

にならないか。

総務政策部長 管理職手

当は年間約200万円削減できるが、部長に昇格することにより給料などは年間約180万円の増額となる。管理職手当と差し引きすれば若干の経費削減となる。

全国棚田サミットの準備は

町長 予定通り進める

質問 平成25年11月に有田川町で開催される全国棚田サミットの準備はどうか。



あらぎ島

町長 平成25年11月に開催される全国棚田サミットは、実行委員会・運営委員会・各専門部会を設け、準備段階である。

今のところ何の支障もなく予定通り進めている。

教育活動奨励交付金の継続を

町長 続けていきたい

質問 教育活動奨励交付金は、先生方を始め保護者の方々にも大変喜んでいただいている制度である。

各学校へ視察に伺った際、今後もこの制度を続けて欲しいという要望が多く、有田川町の教育発展のため継続されることを求める。

町長 教育活動奨励交付金は、平成15年より始まった制度である。それぞれのテーマ・地域の環境などから、各学校独自に

考えた方針に応じて町が交付金を出している。

その成果も出てきているし、現場の方々にも喜んでいただいているので持続していきたい。

教育長 この制度は、各学校の特色を活かし、地域に見合った教育活動の推進を奨励するため、有田川町が独自に行っているものである。

この制度には3つの柱があり、子どもたちの学力・体力の向上、そして体験学習による道徳心やマナーの向上を目的としている。



各学校の特色が活かされる授業

自然を活かしたまちづくりを



前 勢 利 夫

町の自然エネルギー対策 はどうか

町 長
間伐材の有効活用を前向きに検討したい

質問 平成23年の東日本大震災は、原子力発電政策に重要な問題を提起した。このため「太陽光」「風力」「水力」「バイオマス（植生）」などの自然エネルギーに転換、推進することが不可欠である。生活の第一線を担う自治体として今後の対応を問う。

町長 和歌山県は、古くから「木の国」と呼ばれ森林資源が豊富で林産業が盛んな地域として知られている。近年木材需要の減少、価格低迷、就労者の高齢化の進行で課題が深刻化している。

11月28日、民間企業の海南スチール（株）代表が会長となり、近大理工学部選任講師も参加され、特に有田川、日高、

西牟婁地域を中心に「和歌山バイオマス資源活用協議会」が設立された。

今後、協議会の情報などを参考に林業事業の活性化に向けて木質バイオマスによる間伐材などの有効活用を前向きに検討していきたい。



木材などを利用したコークス燃料

土砂の撤去を問う

町 長
治山事業などで対応している

質問 12号台風による有田川支流の堆積土・流木などの処理は。

町長 現在、国・県管理以外の小河川は、町と地権者との協議により、災

害復旧工事、流水の障害などに対応している。

今後、準用河川指定については、河川法の適用を受けることとなり、慎重に協議していきたい。

治山事業の対象となる民有林治山事業は大きく分けて17の事業がある。本町での復旧治山および予防治山の採択条件は、

〔復旧治山の場合〕
①保安林指定を受けていること。

②用地の協力が得られること。

③全体事業は7千万円以上となっている。

〔予防治山の場合〕
①保安林に指定されていること。

②山林崩壊の危険があると思われる地域より申請。

③用地の協力が得られること。

④山腹治山800万円以上、溪流治山1500万円以上。



横谷川の砂防ダム建設工事

土石流を起した河川災害の整備を早急に行い、二次災害防止に努める。室川地内の崩壊は、災害復旧工事に対応している。

押手地内の横谷は、新たに砂防ダム、堰堤2基設置し、上流からの土砂を抑制する。押手横谷の治山工事の予定総工事費は3億2千万円。

室川地内の坂本谷では6億5千万円。いずれも27年度完成の見込みである。



人口3万人目標をどのように実現するか

増 谷 憲

人口3万人目標の具体化
との方策は

町 長
定住策を
推進する

質問 長期総合計画で人口3万人を目標にしているが、どのように実現されるのか。

町長 若い世代の定住を高める施策や定住人口の減少に歯止めをかける施策を推進していく。

質問 へき地地域定住促進対策条例の定住奨励金を支給した実績が少ない。地域指定をはずし、金屋、清水の全地域に広げてはどうか。

町長 支給実績は平成23年度は1世帯と7人、平成24年度は現在3世帯と2人。

5年後に対象地域を見直す。その時点で再検討していく。

質問 町内に住んで、新たに商工業の事業をおこす方への支援策をつくつ

てはどうか。

町長 県が、起業準備から起業、自立発展までを総合的に支援する「スタートアップオフィス」の制度がある。

また商工会でも新規事業のための融資制度があり、各関係団体と連携していきたい。

質問 和歌山県は県内への移住1千世帯の目標を掲げている。

わが町も町外からの移住者に空き家を賃貸できる制度をつくり移住者を増やしてはどうか。

町長 「わかやま田舎暮らし」推進モデル事業を進めている。

平成24年度で問いあわせ16件、現地案内9件、定住は1件。

空き家の数は調べているが、なかなか貸してくれない。今後も努力していく。

有害鳥獣対策の強化を

町 長
あらゆる面で
対策していく

質問 銃やワナなどの狩猟登録における経費の軽減を求める。

町長 県税である狩猟税の軽減などを県に働きかけたい。

質問 イノシシなどの捕獲者への捕獲補助金の増額を求める。

町長 有田郡市間で捕獲金額を同じにできないか話し合いを進めている。

質問 被害防止という観点からの銃狩猟者の養成と増員ができないか。

町長 できるだけ銃の狩猟免許をとってもらえるようにしたい。

質問 鳥獣被害防止対策協議会や鳥獣被害対策アドバイザーの役割を求める。

町長 被害をおさえるために役割を発揮できるようにしたい。

消防署の対応能力の引き
上げを

町 長
消防職員を
増やしていく

質問 ①現在の消防職員数は。②条例で決まっている職員数は。③消防力の整備指針での有田川町消防職員の必要人数はどうか。

消防長 ①消防職員は61名。②条例での定数は64人。③消防力の指針では102人。

質問 現在の職員数は、消防力指針の60%。条例定数からも少ない。今後一定の退職者も出てくる。前倒しで増員することを求める。

町長 前倒しで採用できるように、条例定数の改正も検討していきたい。

子育て支援一番の町づくり ＝学童保育は公立で＝



堀 江 眞 智 子

指導員の賃金保障を

町 長
指導していく

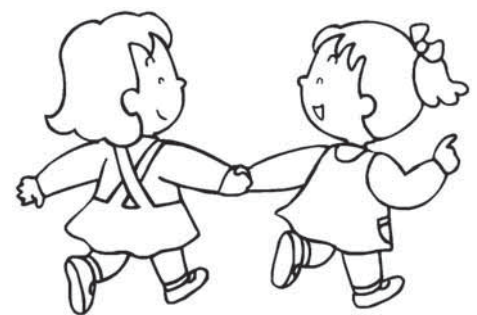
質問 学童保育は、子どもが学校から帰ってくる時間帯に、保護者が仕事で忙しくて家を留守にしなければならぬ家庭の子どもたちの放課後を豊かに過ごさせるための施策である。

学童保育があることが、安心して働けることにつながっている。

また、子どもにとって、学童保育に行く毎日常に指導員が待っていてくれるということ、安心できる大きな要因である。有田川町は、子育てしやすい町をめざしているのだから、子どもの豊かな放課後を保障するためにも、保護者や指導員の声を真摯に受けとめ、将来的には町が主体となって運営していく方向が望

まれる。当面は、役場の臨時職員並みの賃金が保障できるようにしたい。

町長 働く保護者の子育て支援のために学童保育が始まった。希望者が多いことは、その役割を果たしていると思っている。学童保育は有田川町放課後児童健全育成事業要綱第2条に基づき、社会福祉法人または学童保育クラブなどに委託するものとなっている。



学童保育クラブは保護者によって組織され、業務委託契約により運営を任されている。

役員をされている方は負担を感じているかもしれないが、保護者が何らかの形で直接、運営に責任を持つことは、子どもが安心して学童保育で生活できることにつながっている。

指導員の身分は、保護者会では運営しているところは保護者会にその任免や処遇決定が委ねられている。賃金、保険制度などの処遇を含め、今後

とも適正な運営がされているかを指導するように努める。

教育長 どのような形態が子どもにとって安心で安全教育なのかを検討し、最善の運営になるよう努力していく。

指導員は、厚生労働省のガイドラインに記載されている事項を留意の上、保育クラブに対して労働条件などの身分保障についての指導を行っていく。

(町営住宅についても質問しています)



産業建設常任委員会視察

今年の棚田サミットを

どう成功させるか

産業建設常任委員会委員長 西 弘 義

10月19日から20日の2日間にわたり、平成25年11月に当町で行われる全国棚田サミットに向けて、棚田の保全と活用など中山間地の活性化に向けた取り組みを調査するため、熊本県山都町を視察しました。

熊本県山都町の概況

山都町は、熊本県の東部に位置し、面積は約544平方キロ、人口は約1万6千人で、平成17年に1村2町が合併してできた町。

第18回全国棚田(千枚田)サミット

棚田サミットは、開会に先立ち、地元矢部小学

校の児童による「棚田へ行こう」の合唱などオープニングセレモニーがあり、楽しい雰囲気です。サミット開催を盛り上げました。

開会式の後に行われた熊本大学教授による基調講演は、初期的棚田の時代から水利灌漑施設導入のための通潤用水事業、白糸大地の棚田造成に至る歴史についての説明がありました。

会場の近くには当地のシンボリックな存在の通潤橋があり、昼の休憩時に放水風景を見せていただきました。通潤橋と白糸台地一帯の棚田景観は、平成20年に国の重要文化的景観の指定を受けています。

事例発表では、菅棚田と白糸大地棚田の2つの事例について地元の方が発表されました。

その後、道路の整備状況と、中山間地の活性化に向けた取り組みの視点から、道の駅「清和文楽邑」を視察しました。

「清和文楽」とは、江戸時代から伝承される山都町の農村芸能であります。ここには年間10万人以上の観光客が県内外から訪れており、たいへん好評とのことでした。

当町にも地域の方々の



全国棚田サミット全体会(オープニングセレモニー)

ご努力により伝統が受けつがれている無形文化財があります。これらを地域の活性化につなげていく取り組みが必要だと感じました。

棚田を現地見学

2日目は、棚田現地見学が、菅、峰、白糸大地の3会場で行われました。

私たちは白糸大地に参加し、通潤橋や布田神社、白糸大地の棚田を見学しました。

通潤橋は、江戸時代对白糸大地の棚田に水を送るためにつくられた石造りの用水橋で、橋上は暗渠になっており、水路掃除のために通潤橋より放水します。建造から100年以上もの間、地震や洪水に耐え、漏水もないこの橋をつくった先人たちの技術のすばらしさを改めて感じました。今回、サミットの現場



通潤橋の放水

を実際に見ることにいろいろな面で参考になりました。基調講演や事例発表などで山都町の取り組みを知ることができました。

棚田サミットを成功させるためには、行政だけではなく、地元農家をはじめとする住民、その他多くの方々の協力がなくてはできない。イベントを成功させるだけではなく、その後の棚田の保全や地域の活性化、発展につなげていくような姿勢と取り組みが重要です。



吉祥寺薬師堂（国指定重要文化財）有田川町粟生

**傍聴に
お越し
ください**

平成25年第1回定例
議会は3月4日開会の
予定で、一般質問は3
月14日・15日に予定さ
れています。

議会では、みなさん
の生活に直結する問題
を議論しています。

ぜひ傍聴にお越し下
さい。吉備庁舎、金屋
庁舎、清水行政局の各
1階ロビーにおいて議
会中継もしていますの
でご覧ください。

また、議会ホームペ
ージでも、情報発信し
ています。ご覧ください
い。



求む!

広報委員会では、

議会広報誌「かわら版」
の表紙を飾る写真・イラ
ストなど、町民みなさん
から募らせていただいて
おります。



有田川町の名所や風景
などお気軽にご応募くだ
さい。また、地域のサークル
や団体を紹介するページ
も増やしたいと思っています。
ご連絡くださいれば取材に
お伺いします。

みなさんからのご意見、
ご感想もお待ちしていま
す。

議会広報編集 特別委員会

◎増 谷 憲

◎岡 省 吾

橋 爪 弘 典

森 本 明

坂 上 東 洋 士

◎は委員長
◎は副委員長

**編
集
後
記**

町民のみなさまにおか
れましては、新春を迎え
お健やかに過ごしのこ
ととお喜び申し上げます。

さて、新町誕生から8
年目を迎え、道路網、有
田インターなどの基盤整
備が進み、大型量販店、
コンビニなどがオーブン
し、魅力ある街へと変貌
しつつあります。国では
昨年末に新政権が誕生し
、デフレ脱却、雇用の創出
に向けた経済政策が見込
まれ、夏頃には活気が出
てくるものと期待してい
ます。

私たち町議会も行政と
スクラムを組んで、なお
一層の努力をし、有田川
町は安心・安全で住みや
すいと思っていただけ
るよう頑張ります。

今年も「かわら版」で
議会の内容をお届けしま
す。ご愛読よろしくお願
いします。

（森本 明）

お問い合わせ ☎ 521-2111
吉備庁舎4階議会事務局まで